

<u>令和6年度</u> 八幡市当初予算案の概要

住んでよい、訪れてよい Smart Wellness City, Smart Welcoming City

Yawata City

みんなで創って好きになる 健やかで心豊かに暮らせるまち





予算編成の基本的な考え方

R5現状認識

- ▶ 人件費や扶助費、公債費といった義務的経費の増加と物価高騰などの影響により、 市財政は引き続き警戒モード
 - → 厳しい財政状況であるが、将来に課題を積み残さない取組が必要
- ▶ 第5次総合計画の着実な推進
 - → R 5 から後期基本計画がスタート → R 6 も第 5 次総合計画の最終目標の達成 に向け、各施策を着実に前進
- ➤ 歳入減少及び歳出増加要因への対応
 - → <u>少子高齢化による収入減や社会経済情勢が不透明な中、医療・社会保障経費の</u> 増加等により収支面でも予断を許さない状況であり、慎重かつメリハリのきい た予算執行が不可欠
 - → 持続可能で健全な財政運営の確立が継続した課題

R6予算編成の考え方

- ▶ 市長1期目の最初の本格的な当初予算として、公約の実現に向けた予算を編成
 - → 第5次総合計画の目指すべき将来都市像を実現するため、積極的に施策を展開
 - → 一般会計予算規模 309億1千万円(+ 3.2%)
- ▶ 国補正予算等を活用して、緊急安心安全対策を前倒しで実施
 - → 2月補正予算対応 4.8億円規模(13か月予算)



予算規模

第5次総合計画後期基本計画の達成に向け重点6分野に積極的に投資

- ■市長1期目最初の本格的当初予算
- ■国補正予算等も活用した13か月予算として編成
- ■八幡だからこそできる『成長を掴むまちづくり』にむけた予算として編成
- ≻一般会計 309億1千万円

(対前年度当初比 +3.2 %)

- ≻特別会計 166億7千万円
- ▶事業会計 47億4千万円 全会計合計 523億2千万円



当初予算に加え、2月補正において、 4.8億円規模の予算を編成 (13か月予算)

						(手)	☑・十円 、 %)
	会	計	名		令和6年度予算額	令和5年度予算額	増減率
-	般		会	計	30,910,000	29,940,000	3.2
	休日	応系	急診	療所	27,300	27,500	▲ 0.7
特	駐	Ē		場	11,200	8,600	30.2
別	国民	健	康	保険	7,530,100	7,496,500	0.4
会	介	護	保	険	6,614,400	6,333,000	4.4
計	後期	高量	龄 者	医療	2,490,200	2,233,700	11.5
	É	È	į	†	16,673,200	16,099,300	3.6
水	道	事	Ě ź	会 計	2,398,770	2,412,444	▲ 0.6
下	水道	事	業	会 計	2,337,397	2,330,353	0.3
	総		計		52,319,367	50,782,097	3.0

(畄位・壬四 %)



第5次総合計画の概要

(2018-2027)

- -Smart Wellness City, Smart Welcoming City-
 - ■ともに支え合う「共生のまち やわた」
 - ~多様な生き方を尊重し合い、共に輝きながら生きていけるまちづくり
 - ■子どもが輝く「未来のまち やわた」
 - ~未来を担う子どもの成長を地域で一貫してサポート
 - ■誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」
 - ~「健康」で「幸せ」に暮らし続けられるスマートウェルネスシティの推進
 - ■自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」
 - ~歴史と文化が織りなす「観幸/出逢いのまち」
 - **■しなやかに発展する「活力のまち やわた」**
 - ~人・物の流れをつくる基盤の整備
 - ■持続可能な「安心・安全のまち やわた」
 - <u>~市民の生命・財産を守り、持続可能なまちづくりをさらに推進</u>



「共生・協働のまちづくり」

多様な生き方を尊重する共生・協働社会の推進

人権政策推進の取組

新規

・社会情勢等に対応するため、令和3年度から令和 12年度までを計画期間とする「八幡市男女共同 参画プランるーぷ計画III」の中間見直しに着手

・パートナーシップ宣誓制度の導入を検討

平和推進の取組

新規

核兵器廃絶を目指す平和 首長会議の取組や理念に 賛同し、加盟に向けた手 続に着手

女性弁護士相談の実施

新規

一般の弁護士相談に加え、新たに女性弁護士による、女性専門の無料の 弁護士相談を実施

視覚障がい者向けパソコン講座の充実

新規

視覚障がい者の情報アクセシビリティ 向上のため、八幡市視覚障がい者協会 が実施するパソコン講座を支援



外国人が暮らしやすい地域社会づくり

充実

- ・相互理解促進に向けた地域住民との交流イベント等の実施
- ・日本語指導ボランティアのスキルアップ講座の実施

成年後見中核機関の整備

新規

地域の権利擁護支援・成年後見制度の利用促進の強化に向け、 コーディネートなどを行う中核 機関の体制を整備

「子どもが輝く未来のまちづくり」

未来の八幡を担う子どもの成長を地域で一貫サポート

妊娠判定検査への助成

新規

所得の低い妊婦に対し、医療機関での初回妊娠判定検査に 要した受診料の一部を助成

母子保健事業の充実

新規•充実

- ・1カ月児健康診査の実施
- ・産後ケア事業で所得制限のない利用料助成を導入
- ・市内2箇所で健幸スマイルスタジオを実施

就学前施設等における子育て支援の充実「新規・充実」

- ・公立幼稚園での預かり保育の時間拡大
- ・公立幼稚園で2歳児向けのプレ保育を導入
- ・民間保育所・こども園の安全・防犯対策等に 必要な設備整備・多機能化の取組などを支援
- ・民間保育所・こども園に副食費の一部を助成
- ・ひとり親世帯のファミリーサポートセンター 利用料助成制度を創設 等

多様な学びの場の充実

新規

市内の全中学校に「校内支援センター(スペシャルサポートルーム)」を設置し、専任の非常勤講師等を配置

個々の生徒のニーズに合わせた誰 一人取り残さない学びを保障

給食費無償化の推進

新規

市内小中学校の全学年に対し、給食費の一部を助成し、子育て世代の負担を軽減

小学校•中学校環境整備

新規

- ・八幡・有都小学校の屋内運動場空調設備等整備
- ・ 男山第二中学校の武道場長寿命化改良
- ・男山東中学校のエレベータ整備の設計等



「『健幸』のまちづくり」

で「幸せ」を実感できるまち八幡の推進

医療給付の拡充

充実

- ・子育て支援医療助成制度の 通院医療費助成の対象を、 15歳の年度末から18歳の年 度末までに拡充
- ・障がい者医療給付の対象を、 精神障害者保健福祉手帳 1 級所持者と2級所持者の一 部にも拡充。府市協調

がん患者支援の充実

新規

- ・医療用ウィッグや補装具等の購入費用の一部を助成の
- ・18歳以上40歳未満の若年末期がん患者の在宅療養に 要する費用の一部を助成の市協調

八幡市あんしんネットワーク事業

充実

あんしんネットワーク登録者が行方不明時等に与えた 損害等を補償する保険料を負担

オーラルフレイル 対策の充実

充実

- ・後期高齢者歯科健診の 対象を80歳に拡充
- ・上記の歯科健診でハイ リスクであった方に、 歯科衛生士による個別 訪問指導を実施

「『観幸』のまちづくり」

自然と歴史文化が織りなす文化観光まちづくりの推進

大阪・関西万博 新規・継続 関連事業の実施

舟運や竹あかりを題材 にしたイベント、文化 財一斉公開などを実施 新・空中茶室創造推進事業 継続

国レガシー形成事業の成果を 踏まえ、新・空中茶室創造に 向けた課題解決のための調査 等を実施



「活力のまちやわた」

新たな価値の創造と土地利用の転換を推進

地域公共交通の再編

新規

コミュニティバスやわたのルート ・ダイヤ再編やデマンド交通等の 新たな交通手段の導入を検討

石清水八幡宮駅周辺整備に向けた取組

新規

- ・まちの玄関口としてふさわしい駅前整備に向け、グランドデザイン(目指す将来像)を検討
- ・ 放生川踏切道の拡幅に着手

企業誘致促進の取組

新規

地域未来投資促進法に基づく新たな基本計画 を策定(地域の将来像や経済的効果の目標等 を定める)

農業振興の取組

継続

- ・担い手農家等が行う生産性・付加価値 向上に向けた取組を支援
- ・農業振興地域整備計画を策定

「安心・安全のまちづくり」

災害に強い「安心・安全」で持続可能なまちづくり

災害への備えの充実

新規•充実•継続

北ム

新規

- ・能登半島地震を受け、木造住宅耐震改修助成を拡充 府市協調
- ・ふるさと納税による寄附金を活用し、トイレカーを導入
- ・吉野遊園での新たな雨水地下貯留施設整備の設計に着手で水道事業

指令室・消防隊・救急 隊間で映像等を共有で きるシステムを導入

Live119の導入



緊急安心安全対策(5年度2月補正)

国補正予算等を活用した安心安全対策(4.8億円規模)

13か月予算

「活力」ある「安心・安全」なまちづくりに向けた基盤づくりの推進

橋本駅周辺拠点整備(街区道路等整備工事)

单独道路等整備(山手幹線舗装補修工事)

橋りょう長寿命化(奥戸津橋、横町橋等補強補修工事)

学校施設の安心安全対策の実施

男山第二中学校武道場長寿命化改良(再掲)

▶活力ある八幡市の基盤づくりを進めるとともに、安心・安全への対策をしっかりと推進

切れ目ない物価高騰対策の実施

物価高騰下において、国の緊急対策と連携し、緊急対応する事業

住民税均等割のみ課税世帯への給付 10万円/世帯

5万円/児童 低所得者の子育て世帯への加算

- ▶国の地方創生臨時交付金を活用し、切れ目ない対策を実施
- ▶当初予算においても、低所得者支援や定額減税の補足に係る給付金の予算を計上